

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ
A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【別紙1－加算配付用】

令和元年度 校長経営戦略支援予算【加算配付】実施報告書(選定校記載用)

(校園コード 522030)

※校園コードを入力してください。

学校名 高倉中学校

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

取組に対する評価状況

学校関係者による評価実施済

1 配付額 1,740,000 円 → 決算額 1,723,365 円

2 自校の現状・課題(※小・中学校においては、学力課題に限定)

平成28年度より、教育課程の編成として、国語・数学・英語において、文部科学省の標準時数より授業時数を拡充し、学力向上に向けて取り組んでおり、その成果は徐々にあらわれている。
平成30年度「全国学力・学習状況調査」の結果で国語・数学において平均正答率が大阪府平均を上回った。また、「中学生チャレンジテスト」で3年生は社会と理科で大阪府平均を上回り、2年生は国語と数学と英語で大阪府平均を上回り、1年生では3教科とも大阪府平均を上回る結果となった。
その一方、校内アンケートの結果では「家庭学習」「自主学習」習慣の確立が大きな課題となっている。与えられた課題に取り組むだけでなく、自ら学習に取り組む習慣を身に付けることにより更に学力向上につながる必要がある。しかし、本校では放課後やテスト前の自学自習をする設備がなく施設の整備が必要である。

3 年度目標(※小・中学校においては、学力向上の目標を記載すること)

中学生チャレンジテストにおける平均点が、全学年・全教科で大阪府平均を上回る。

目標に対する達成状況(取組完了時)

1年生と2年生では全教科で大阪府平均を上回る結果となった。
3年生は国語・数学・英語で大阪府平均を上回ったものの、社会・理科は少し下回った。

達成

B

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

- ①習熟度別少人数授業について、実施計画に基づき、国語・数学・英語において、基礎・基本的学力の定着に向けた学習活動に取り組む。
- ②自主学習支援のため、各教科の学習活動の中に家庭学習課題を計画的に導入し、学習習慣の確立に取り組む。

5 年度目標に応じた事業効果を測る指標(期待する効果等)

校内調査における「自学自習や家庭学習が習慣になっている」と答える割合を前年度より20%向上させる。

指標に対する達成状況(取組完了時)

校内調査で「自学自習や家庭学習が習慣になっている」と答える割合は81%で昨年度の54%より向上した。

達成

A

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 年間スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み	購入手続		多目的室の整備		放課後やテスト前の自主学習会を実施				
効果検証	↑3年チャレンジテスト		↑校内アンケート実施			12年チャレンジテスト↑		校内アンケート実施↑	

【裏面に続く⇒】

取組

1

(校 園 コー ド 522030)
学 校 名 高 倉 中 学 校

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 施策名】 【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ①自主学習支援のため、多目的室の整備 ②自主学習支援のため、多目的室の備品整備をすすめる。 ③校内アンケートにより、意識調査を実施し、取組内容の改善を進める。	委員会使用欄	達成
		B
予算内訳 18-2 会議用テーブル @ 30,000×20 = 600,000円 18-2 会議用イス @ 5,000×60 = 300,000円 18-2 シューズボックス @120,000× 2 = 240,000円 小計 1,140,000円 11-6 多目的室の床整備 600,000円 合計 1,740,000円		
期待される効果 放課後の自主学習やボランティアを活用した学習会などを実施していたが、図書室が狭く机や椅子の数も足りていない状態であるため、多目的室を整備することにより学習に取り組む環境がよくなり、学習意欲や学習する雰囲気をつくることことができる。		

(2) 取組内容に対する実施スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み	購入手続		多目的室の整備		放課後やテスト前の自主学習会を実施				
効果検証	□ ↑3年チャレンジテスト		□ ↑校内アンケート実施			□ 12年チャレンジテスト↑			□ 校内アンケート実施↑

(3) 取組内容に対する中間報告

☒ スケジュールどおり実施できている。 ☐ スケジュールにやや遅れがあるが、取組は予定どおり実施できる見込みである。 ☐ スケジュールに大幅な遅れが出ている。(□他責・□自責) [大幅な遅れがある場合]理由及び対処方法(年度末到達目標の修正など)

(4) 取組内容に対する決算内訳

決算内訳			
11-1 会議用テーブル	@ 15,510×30 = 465,300円	@ 21,450×13 = 278,850円	
11-1 会議用イス	@ 4,895×90 = 440,550円	小計	1,184,700円
18-2 シューズボックス	@ 45,400× 2 = 90,800円		
11-6 多目的室の床整備	447,865円	合計	1,723,365円

※取組内容はPDCAサイクルを意識して設定してください。委員会使用欄は空欄としてください。